使用取扱説明書

ラベルプリンタ

Rev. 1.01

SLP-DX420 / DX420E
SLP-DX423 / DX423E

http://www.bixolon.com

■ 目次

■ 使用取扱説明書について

この使用取扱説明書には製品使用にかんする基本的な情報および、非常時に必要となりうる対処法が掲載されています。

※ 以下に挙げる別冊の取扱説明書には、技術的問題や分野についてのより詳細な説明が書かれています。

1. Windous ドライバマニュアル
Windows ドライバのインストールおよび主な機能について説明しています。

2. 統一ラベルプリンタユーティリティマニュアル
この製品の機能選択や作業状況の変更に使うソフトウェアについての情報が掲載されています。

3. プログラミング(SLCS)マニュアル
ラベルプリンタコマンドについて書かれています。

4. True フォントダウンローダーマニュアル
True フォントをダウンロードしデバイスフォントとして簡単に使用できるようにするフォントダウンローダーの使用について説明しています。

5. Ethernet インターフェースマニュアル
Ethernet インターフェースの設定と使用について説明しています。

6. ラベルデザインプログラムマニュアル
テキストや画像、バーコードを好きな場所に置いてラベルを作成することのできる Windows PC プログラムについて説明しています。

BIXOLON 社では当社製品すべての機能と品質の拡張・改善のために常に努力を重ねています。このため、製品スペックや使用説明書は予告なしに変更することがあります。

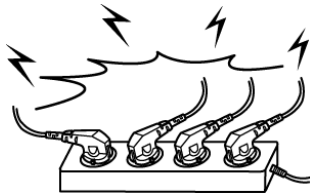
■ 安全にご使用いただくために

本製品をご使用の際には、怪我や損傷を防ぐために以下の安全規制をお守りください。

警告

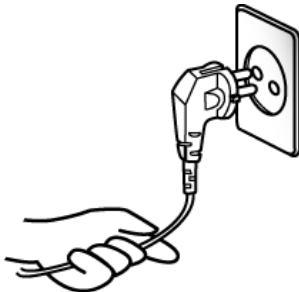
以下の指示に従わない場合、重大な怪我および死亡事故の原因となることがあります。

延長コードに複数の製品を接続しないでください。

- 過熱および火災の恐れがあります。
- プラグが濡れていたり汚れていたりする場合は、使用前に拭き取ってください。
- プラグがソケットにしっかりとはまらない場合は、使用しないでください。
- 延長コードは基準を満たすもののみご使用ください。

正規品以外のアダプタは使用しないでください。

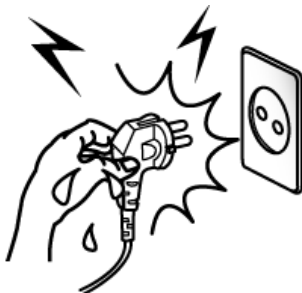
- これ以外のアダプタの使用は危険です。

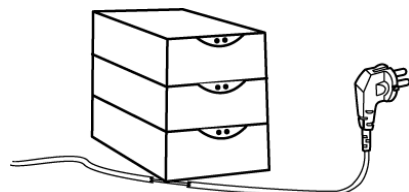
プラグを抜く際は引っぱらないでください。

- ケーブルに損傷が生じ、火災やプリンタの故障の原因となることがあります。

プラスチックの袋はお子さまの手の届かないところに管理してください。

- お子さまが袋を頭に被って遊ぶ恐れがあります。

プラグの抜き差しは濡れた手で行わないでください。

- 感電の恐れがあります。

ケーブルを無理に曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

- ケーブルが損傷すると火災の恐れがあります。

注意

以下の指示に従わない場合、怪我や機器の損傷の原因となることがあります。

プリンタから煙や異臭、異常な音が発生した場合は、まずプラグを抜いてください。

- プリンタの電源を切り、ソケットからプラグを抜きます。
- 煙が消えたのを確認し、代理店に修理を依頼してください。

プラグを抜く

乾燥剤はお子さまの手の届かないところに管理してください。

- お子さまが食べる恐れがあります。

禁止

プリンタは安定した場所に設置してください。

- プリンタが転倒すると、故障や怪我の原因となることがあります。

禁止

付属品は正規品のみ使用し、ご自分で修理や改造をしないでください。

- 修理は代理店にご依頼ください。
- 自動カッターの刃には触れないでください。

分解禁止

プリンタには水や異物を入れないでください。

- これが起こった場合は電源を切り、プリンタのプラグを抜いた後、代理店にご連絡ください。

禁止

故障したプリンタは使用しないでください。火災や感電の恐れがあります。

•電源を切り、
プリンタのプラグを抜いた後、代理店にご連絡ください。

プラグを抜く

■ その他のご注意

この使用取扱説明書およびその他関連説明書に関する著作権はBIXOLON Co., Ltd.が所有しています。使用取扱説明書およびその他関連をBIXOLON Co., Ltd.の書面による承諾なしに複写、複製、翻訳そして電子メディアおよび機械にて読み取り可能な形式に変換することは固く禁じられています。

この使用取扱説明書に記載されている情報の使用については特許の責任範囲外となります。使用取扱説明書は細心の注意を払って作成されていますが、なんらかの誤脱がある場合もあります。

この使用取扱説明書に記載されている情報の使用に関して起こりうる損傷について、BIXOLON Co., Ltd.は一切責任を負いません。

BIXOLON Co., Ltd.およびその関連会社は（アメリカ合衆国を除く）、BIXOLON Co., Ltd.提供の情報および指示に正しく準拠しそれを維持しなかったこと、およびユーザおよび第三者による製品の非正規の改造、修理または変更に起因する製品の故障、不機能、誤使用によって引きおこされる損傷、費用および経費に関して責任を一切負いません。

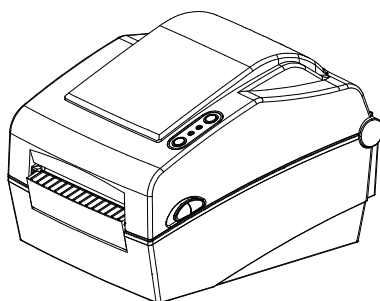
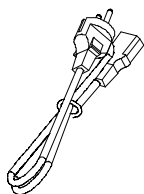
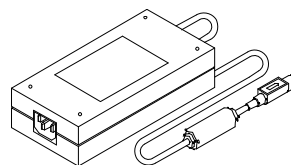
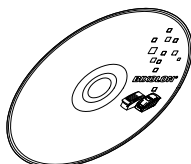
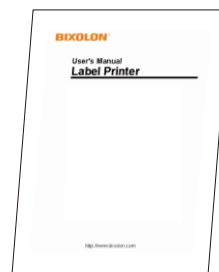
BIXOLON Co., Ltd.はBIXOLON製品および正規製品以外のオプション品や部品の使用による故障や問題について責任を一切負いません。

⚠ *警告*
保護されていないインターフェースケーブルを使用すると、EMC規格の違反となります。ユーザーはBIXOLON認定のケーブル以外は使用しないでください。

■ WEEE (廃電気・電子機器)

製品または製品取扱説明書上のこのシンボルは、その製品が他の家庭廃棄物とともに処理してはならないものであることを示しています。廃棄物の不適切な処分により環境や人体に害が及ぶことのないよう、このシンボルのついた製品はほかのゴミとは分別し、責任をもってリサイクルを行うことで資源の持続可能な再使用を推進してください。この製品を安全にリサイクルするための場所や方法については、製品をご家庭でご利用の場合は購入元の販売店もしくはお住まいの地域の市役所などにお問い合わせください。ビジネスユーザのみなさまは、取引業者にご連絡のうえ、購入時の条件などをご確認ください。この製品はほかの事業系ゴミとは分別して処分してください。

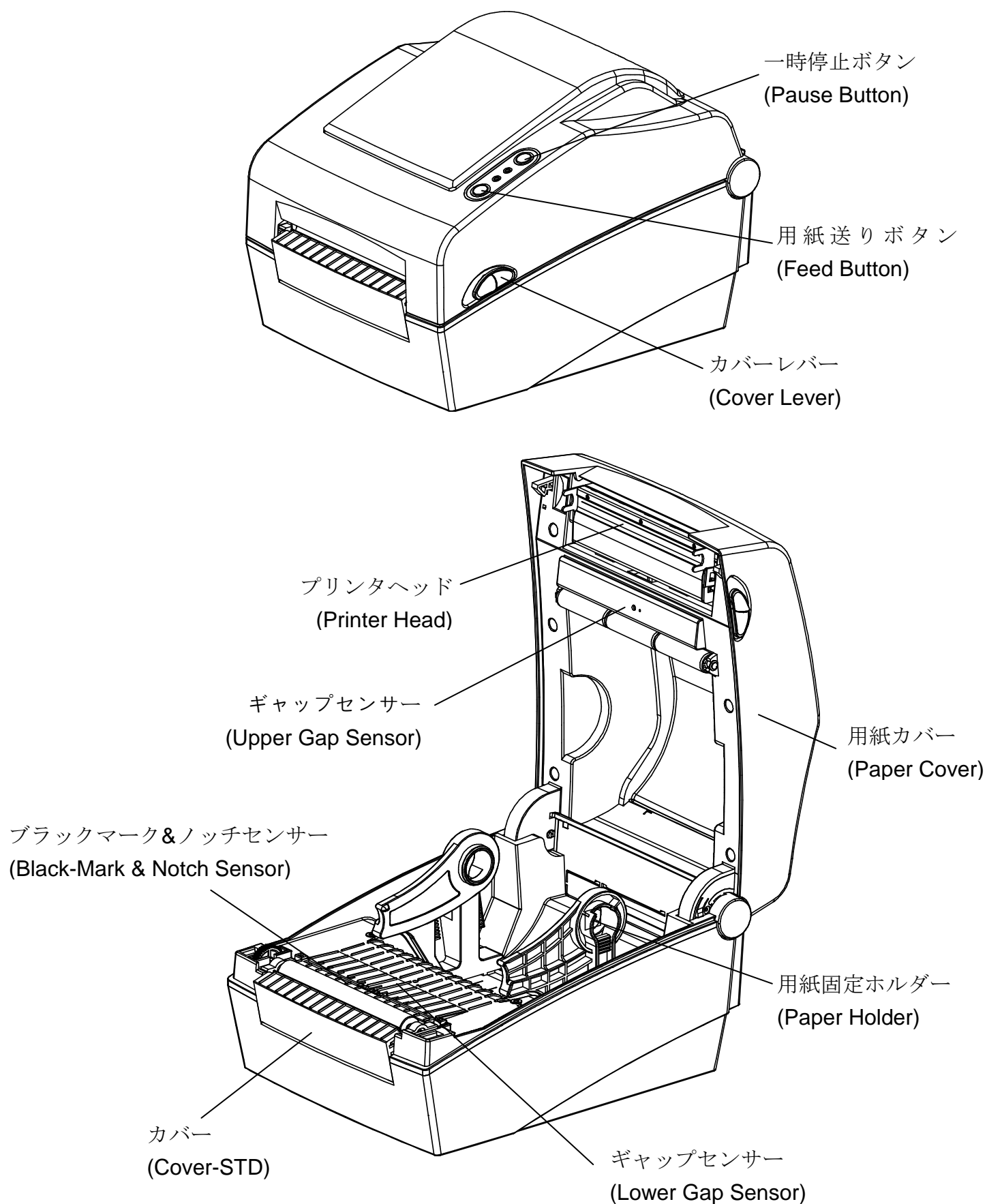
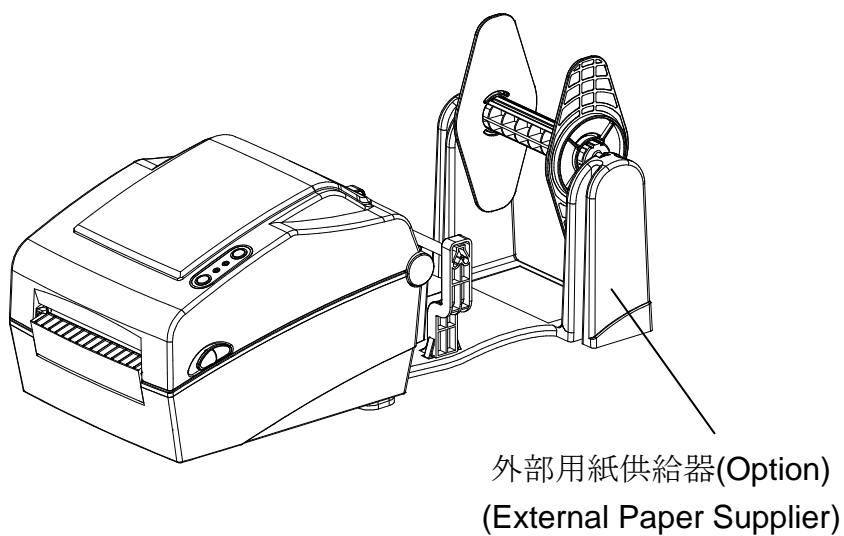
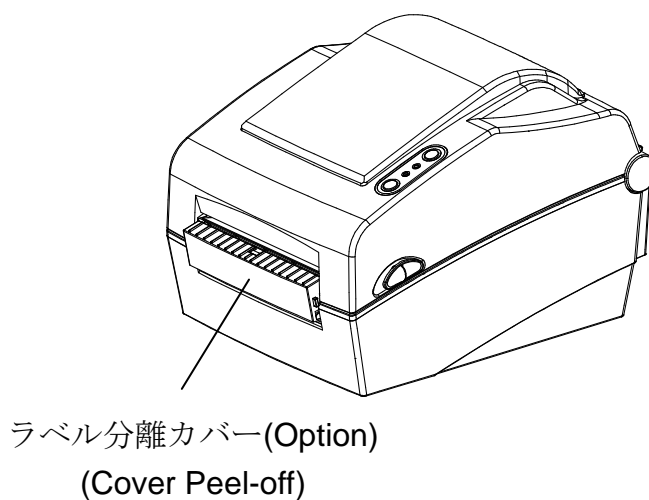
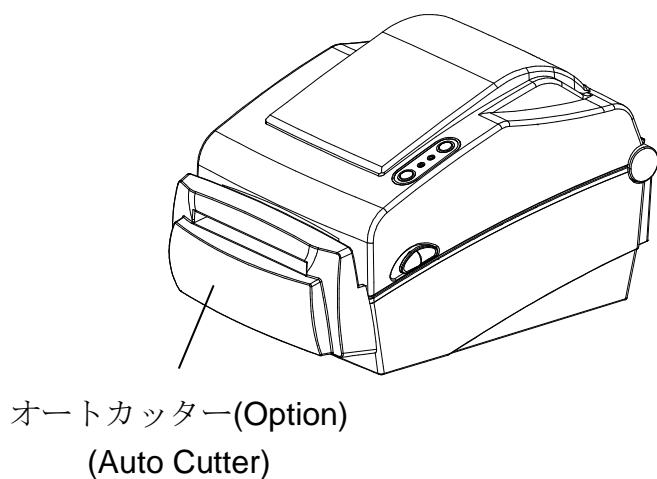
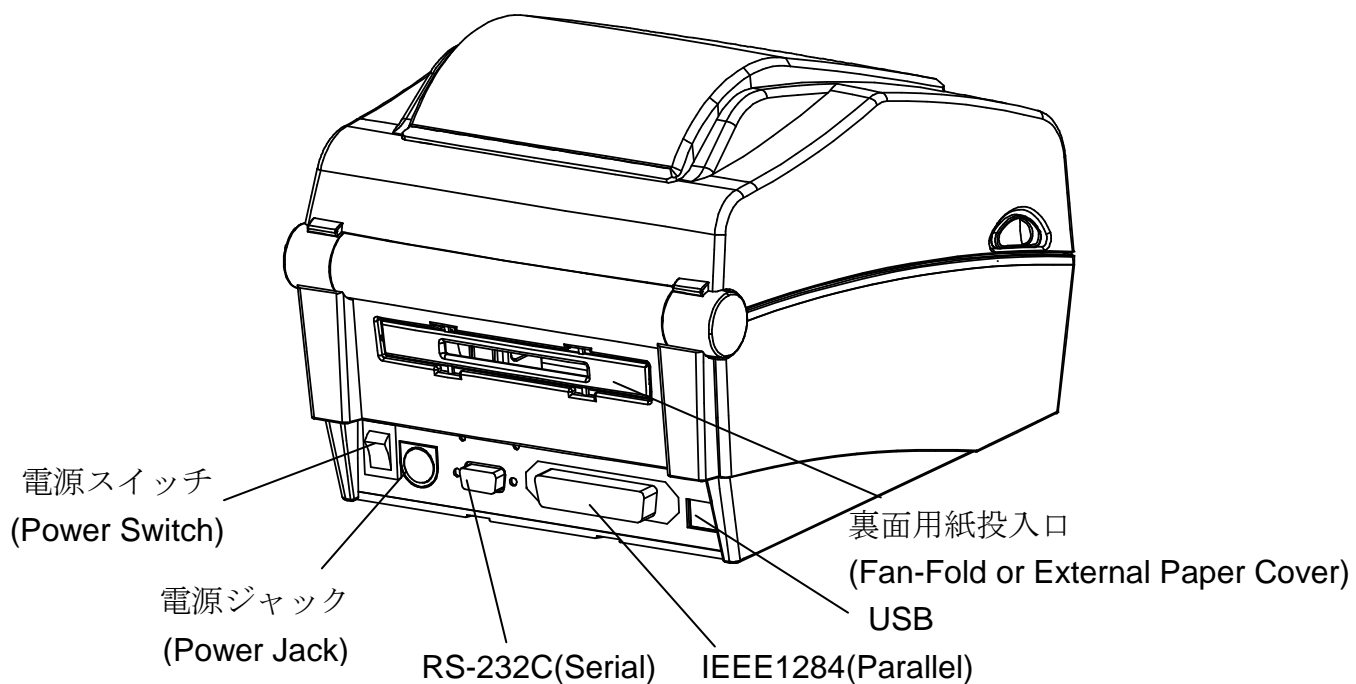
1. 内容物の確認

以下の図に示された部品が、プリンター箱に全て入っているかご確認ください。
損傷したり足りない部品があれば、購入先にお問い合わせください。

2. 製品の主な名称

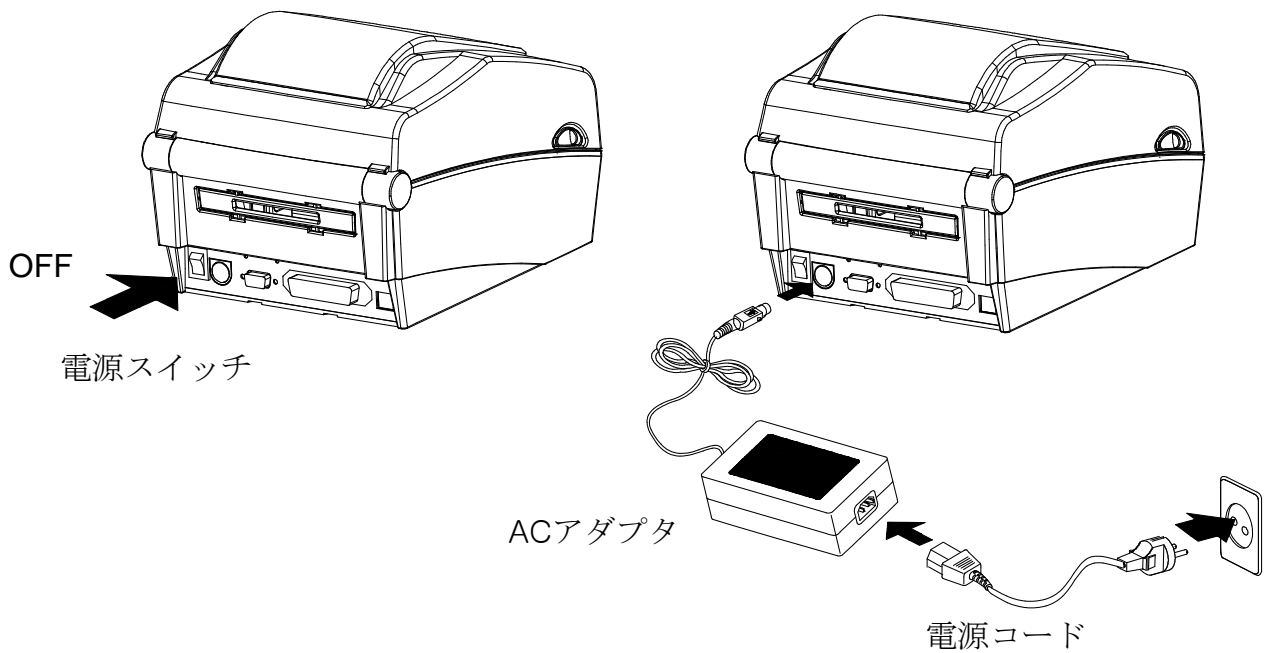
一時停止ボタン
(Pause Button)
用紙送りボタン
(Feed Button)
カバーレバー
(Cover Lever)
プリンタヘッド
(Printer Head)
ギャップセンサー
(Upper Gap Sensor)
用紙カバー
(Paper Cover)
ブラックマーク&ノッチセンサー
(Black-Mark & Notch Sensor)
用紙固定ホルダー
(Paper Holder)
カバー
(Cover-STD)
ギャップセンサー
(Lower Gap Sensor)

オートカッター(Option)
(Auto Cutter)

ラベル分離カバー(Option)
(Cover Peel-off)

外部用紙供給器(Option)
(External Paper Supplier)

3. 取り付け＆使用

3-1 電源の接続

電源は以下のようにプリンタに接続してください。

1) プリンタの電源をオフにします。

2) ACアダプタの電圧と電源の電圧が合致することを確認します。

3) ACアダプタのコネクタをプリンタの電源ジャックに接続します。

4) ACアダプタに電源コードを接続します。

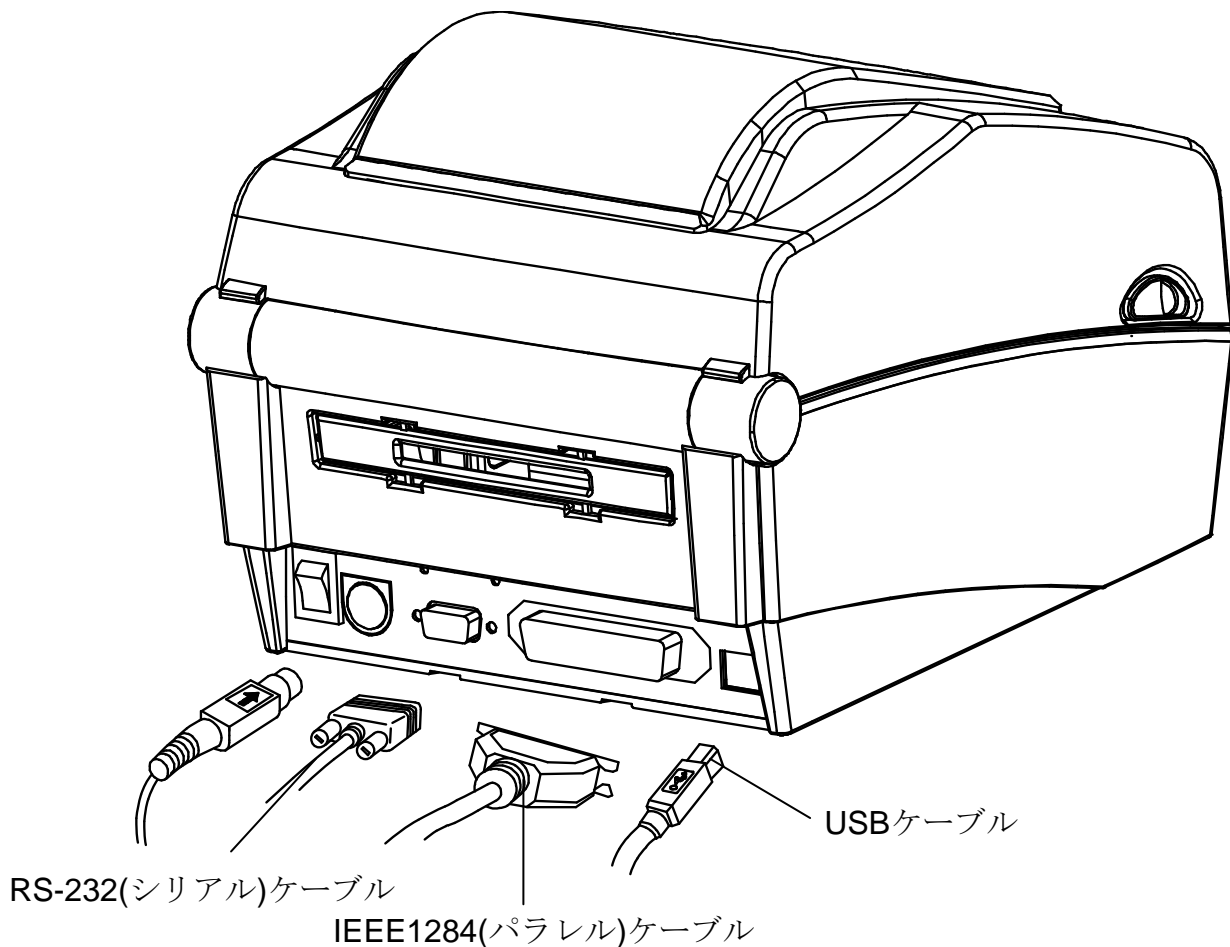
5) 電源コードを壁にある電源コンセントに差し込みます。

3-2 インターフェースケーブルの接続

3-2-1 Standard Model

インターフェースケーブルは以下のようにプリンタに接続してください。

このプリンタは以下の通信インターフェースに対応しています。

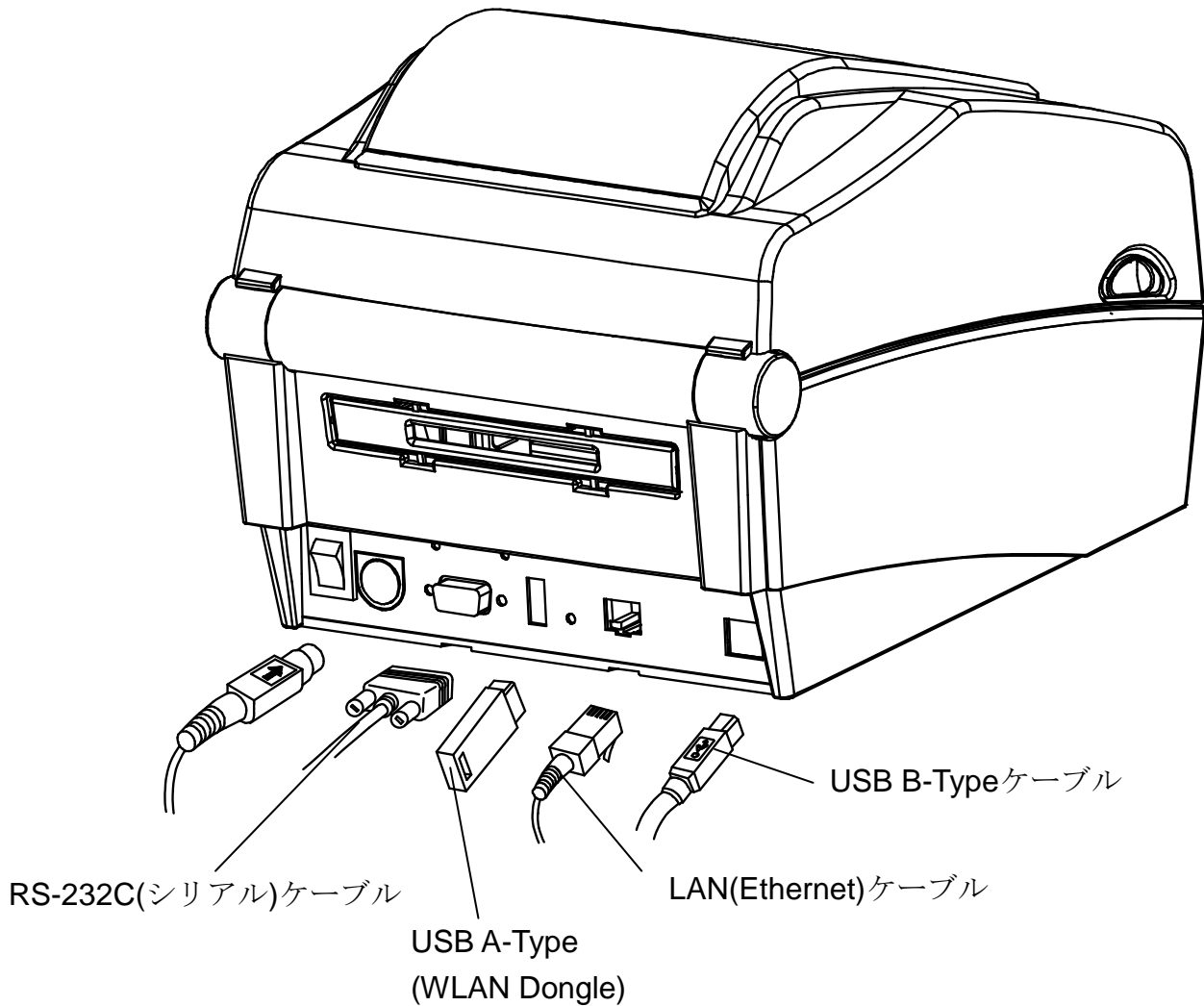
- RS-232C(シリアル)ケーブル
- IEEE1284(パラレル)ケーブル
- USB B-Typeケーブル

1) 電源をオフにします。

2) 使用する通信ケーブルをプリンターの通信コネクタに差し込んでください。
   - SERIALポートにRS-232C(Serial)ケーブルを繋げ、両側のネジを締めてください。.
     (長さ1.8m以下のシールドケーブル使用)
   - PARALLELポートにIEEE1284(Parallel)ケーブルを繋げてから、両側のクリップを繋げ てください。
     (長さが1.8以下のFerrite coreが適用されたシールドケーブル使用)
   - USBポートにUSB B-Typeケーブルを繋げてください。
     (長さ1.8m以下のシールドケーブル使用)

3-2-2 Ethernet Model

インターフェースケーブルは以下のようにプリンタに接続してください。

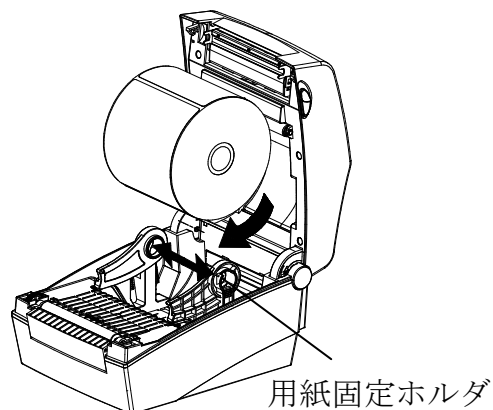
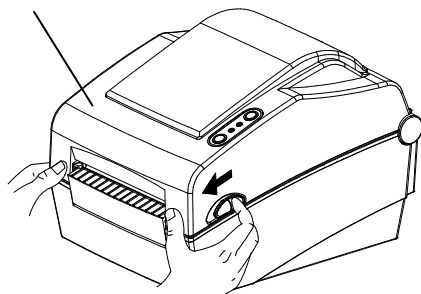
このプリンタは以下の通信インターフェースに対応しています。

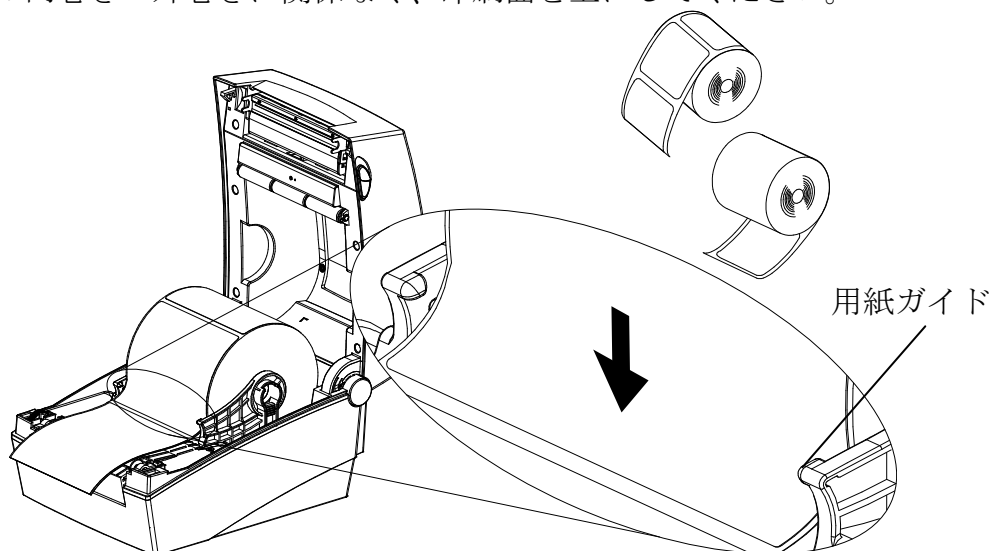
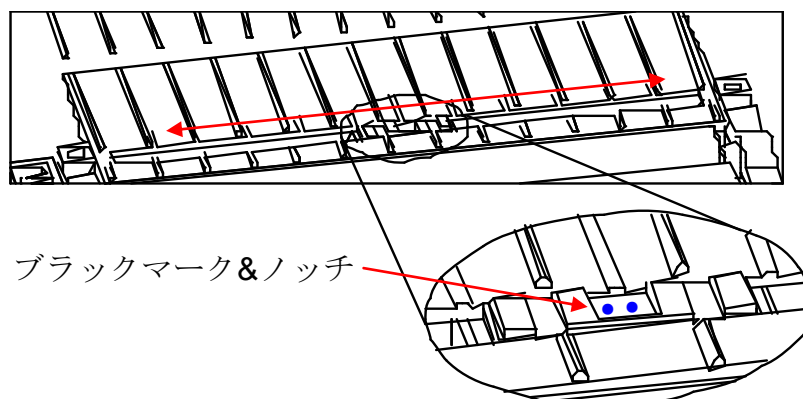
- RS-232C(シリアル)ケーブル
- LAN(Ethernet)ケーブル
- USB A-Type(WLAN Dongle)
- USB B-Typeケーブル

1) 電源をオフにします。

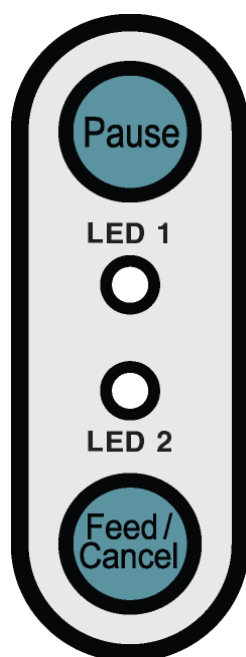
2) 使用する通信ケーブルをプリンターの通信コネクタに差し込んでください。
   - SERIALポートにRS-232C(Serial)ケーブルを繋げ、両側のネジを締めてください。
     (長さ1.8m以下のシールドケーブル使用)
   - ETHERNETポートにLAN(Ethernet)ケーブルを繋げてください。
     (長さ3m以下のCAT5 Spec以上のUTPケーブル使用)
   - HOSTポートにUSB A-Type(WLAN Dongle)を繋げてください。
   - USBポートにUSB B-Type ケーブルを繋げてください。
     (長さ1.8m以下のシールドケーブル使用)

3-3 用紙を入れる

1) 用紙カバーを開いてください。

2) 用紙固定ホルダを開いて用紙を入れてください。

3) 用紙がプリンター前面の外に出るように引っ張ってください。両側の用紙ガイド下に用紙を入れてください。

* ラベルの内巻き・外巻きに関係なく、印刷面を上にしてください。

4) ブラックマークやノッチ用紙を使用する場合は、用紙を上げてブラックマークやノッチ穴とセンサー位置が一致するように調節してください。

5) 用紙カバーを「カチッ」と音がするまで閉めてください。

3-4 ボタン& LED

3-4-1 ボタン操作のしかた

操作前のプリンター状態	ボタン		詳しい操作方法	プリンター動作モード
	Feed/ Cancel	Pause		
電源OFF	押す	-	• ボタンを長押しすると電源がつく。(セルフテスト印刷が始まるまでボタンを押し続ける)	セルフテスト印刷モード
印刷待機	押す	-	• 軽く押して離す	給紙(Feed) モード
印刷待機	-	押す	• 2秒間長押し	プリンター単独設定モード
印刷中	押す	-	• 2秒間長押し	印刷取消(Cancel)モード
印刷中	-	押す	• 軽く押して離す	印刷一時停止(Pause)モード

3-4-2 プリンター状態を示すLED表示

LED 1		LED 2		プリンター状態	
色	状態	色	状態		
緑	点灯	緑	点灯	印刷待機モード	印刷待機状態
赤	点灯	オレンジ	点灯	エラーモード	紙詰まり(ギャップ/ブラックマークは認識されず)
赤	点灯	緑	点滅	エラーモード	プリンターヘッド Over-Heat
赤	点灯	赤	点滅	エラーモード	用紙カバーが開いている
赤	点灯	オレンジ	点滅	エラーモード	用紙切れ
赤	点灯	-	消	エラーモード	用紙設定失敗 (Media Calibration Failure)
赤	点滅	赤	点滅	エラーモード	オートカッターエラー (Auto-Cutter Error)
オレンジ	点灯	オレンジ	点灯	モード転換表示	モード転換をお知らせ
緑	点滅	赤	点灯	入力待機	印刷一時停止。ボタン入力待機
緑	点滅	緑	点滅	入力待機	カバーが閉じている。ボタン入力待機
緑	点灯	赤	点滅	入力待機	印刷取消モード。ボタン入力待機

3-5 テスト印刷

3-5-1 Windowsドライバを使用した印刷

1) Windowsドライバをインストールします。
インストール手順についてはCD上の「Windowsドライバマニュアル」を参照してください。

2) Windowドライバの「ポート」を使用するインターフェースに合わせて設定します。
Ethernetインターフェース使用時はCD上の「Ethernetインターフェースマニュアル」をご覧ください。

3) Windowsドライバの「テストページの印刷」機能よりテスト印刷を行います。

3-5-2 ラベルデザインプログラムを使用した印刷

- ラベルデザインプログラムはCDに収められています。

1) ラベルデザインプログラムをインストールします。

2) CD上の「ラベルデザインプログラムマニュアル」を参照し、インターフェースを設定します。

3) ラベルをデザインし、テスト印刷を行います。

4. 自己診断

プリンタを初めて設定する場合、または問題がある場合、実行してプリンタの次の状態を確認することができます。

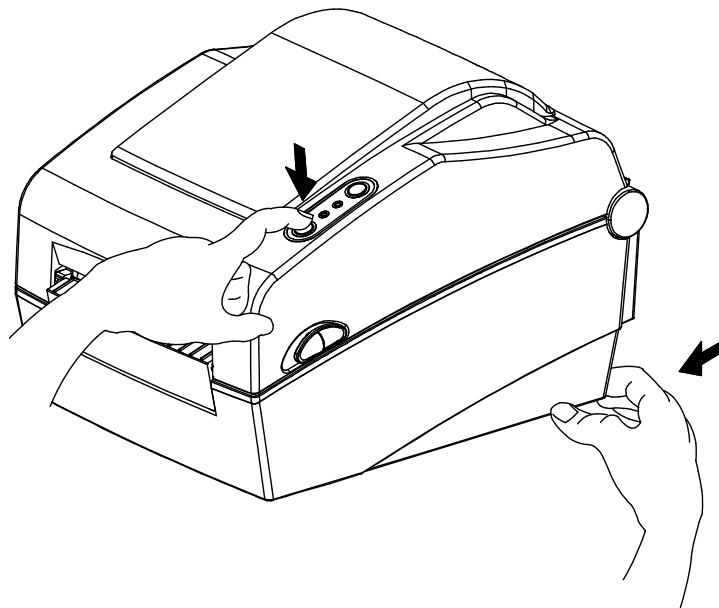
- ファームウェアバージョン、プリンタ設定状態、印刷の品質および周辺機器の設定情報など

自己診断の結果、プリンタに問題がない場合、他の機器やソフトウェアを調べてください。この機能は他の機器やソフトウェアと独立的に動作します。

自己診断は以下のように行います。

1) ペーパーロールが正しく取り付けられていることを確認します。

2) プリンタの電源をオフにしてペーパーカバーを閉じてください。

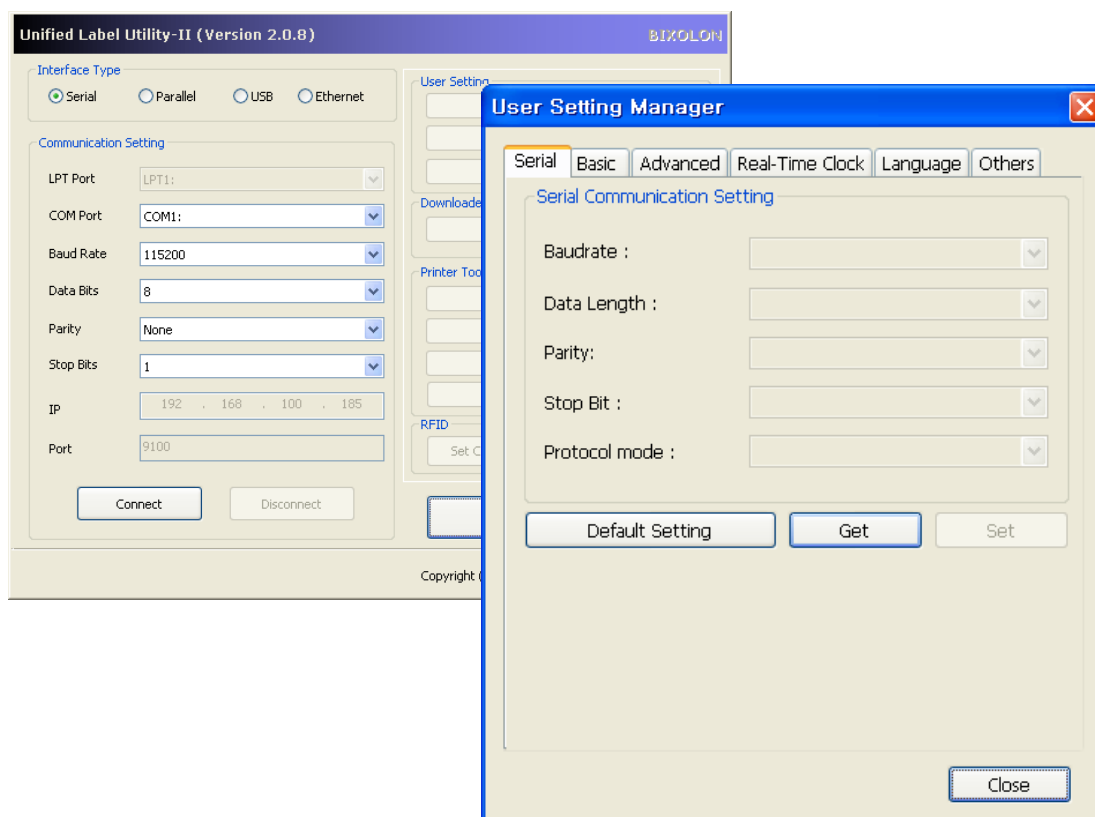
3) Feedボタンを押しながら同時に電源を点けるとセルフテストが始まります。
(セルフテスト印刷が始まるまでボタンを押し続ける)

5. 詳細な機能

5-1 ユーティリティプログラムを使ったプリンタ設定

ユーティリティプログラムを使うと、プリンタの基本的な設定を変更することができます。

ユーティリティプログラムには以下の機能があります。

1) シリアル通信設定
　ハンドシェーク、ストップ Bit、データ Bit、パリティ、ボーレートなどを設定できます。
2) プリンター基本設定
　用紙サイズ、印刷速度及び濃度、用紙の種類などを設定できます。
3) 言語設定
　基本コードページを設定できます。
4) メディアセンサ手動補正機能
　メディアセンサの自動補正を通じても感知されない特殊な形態または材質の紙を感知するために使います。詳細はメディアセンサ手動補正ページを参照してください。
5) その他プリンタテスト用機能を提供します。

詳細は CD 上の「United Label Printer Utility-II マニュアル」を参照してください。

5-2 プリンタ単独設定モード (Stand-alone Configuration Mode)

ボタンとLED操作によってプリンタの多様なモードを実行することができます。

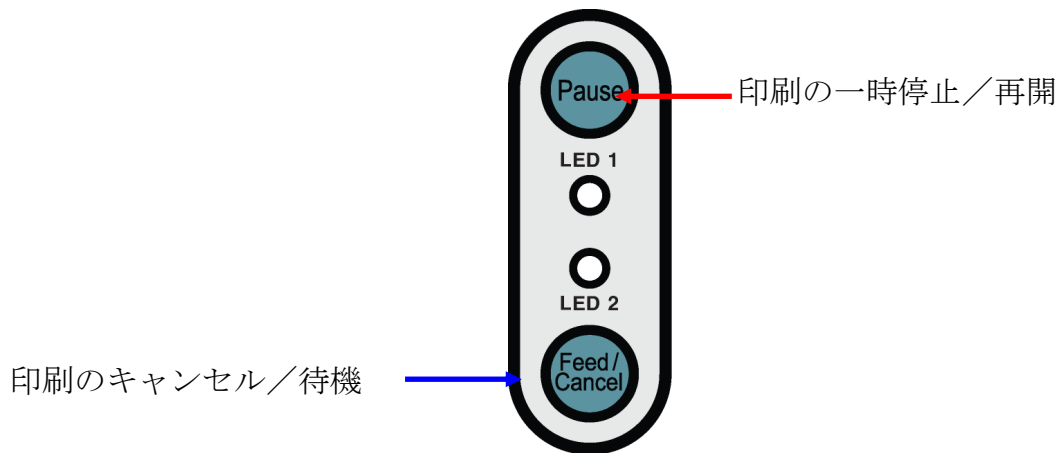
5-2-1 プリンタ単独設定モードの開始方法

- 印刷待機モードでポーズボタンを2秒間押すと、プリンタ設定モードに転換します。
- LEDが両方ともオレンジ色に変わり、プリンタ単独設定モードが実行されます。
- プリンタ設定モードに入ると、LED 1とLED 2の状態が順次変わります。
- 特定カラーの組み合わせでフィードボタンを押せば、該当するプリンタ動作が実行されます。

5-2-2 サポート機能

番号	LED 1		LED 2		プリンター動作
	色	状態	色	状態	
1	緑	点灯	緑	4回点滅	プリンター設定情報ページを出力
2			オレンジ	4回点滅	ファイルリスト出力
3			赤	4回点滅	工場出荷時設定に初期化(Factory Reset)
4	オレンジ	点灯	緑	4回点滅	ギャップセンサー自動補正
5			オレンジ	4回点滅	ブラックマークセンサー自動補正
6			赤	4回点滅	受信データ出力モード(Data Dump)
7	赤	点灯	緑	4回点滅	デモモード(Demo)
8			オレンジ	4回点滅	-
9			赤	4回点滅	ダウンロード項目削除

5-3 ポーズ/キャンセル

複数のページにわたるプリントジョブ実行中には、ポーズボタンおよびキャンセルボタンを使って印刷の一時停止およびキャンセルを行うことができます。

5-3-1 一時停止／再開機能

1) ラベルプリント中にポーズボタンを押します。

2) 印刷中のラベルが完了後に印刷が一時停止します。LED状況も変わります。
   - LED 1: 緑点滅
   - LED 2: 赤点灯

3) プリントジョブ停止中にポーズボタンを押すと、印刷を再開します。

5-3-2 印刷のキャンセル

1) ラベル印刷中および一時停止中にキャンセルボタンを押します。

2) キャンセルモードに入ります。

3) キャンセルモードでは以下が実施されます。
   - ラベル印刷がすべてキャンセルされます。
   - プリンタ通信バッファで受信されたすべてのデータが消去されます。
   - 受信データがすべて消去されます。

4) キャンセルモードではLEDは以下のようになります。
   - LED 1: 緑点灯
   - LED 2: 赤点滅

5) キャンセルモード中にキャンセルボタンを再度押すと、待機モードに入ります。

5-4 メディア設定 (Media Calibration)

プリンターは大部分の用紙でギャップを認識できるようになっていますが、時々特殊な性質の用紙を使う場合、プリンターがギャップを認識できなくて用紙をずっと給紙することがありえます。このような場合、センサー自動補正を遂行してプリンターがギャップを認識できるようにしてください。BIXOLONプリンターは色々な形態の特殊な用紙を使うことができるように多様なメディア設定方式を提供します。

5-4-1 メディア設定とは？

- 正確な印刷位置を制御するために紙感知センサの感度を調整し、紙の実際の長さを測定することを意味します。
- センサ感度調整
  - 取り付けられているラベル用紙のセパレーター(ギャップ/黒マーク/溝など)を正確に検出する
- 用紙長さ測定
  - 印刷方向を回転するために正確な長さを調べる
  - 用紙の種類の変更有無を検出する

5-4-2 メディア設定が必要な場合

- プリンタを初めて取り付ける場合
- 他の種類の用紙に交換する場合
- 正確な位置に印刷されない、または正確な位置に止まらない場合

5-4-3 メディア設定

- 場合によって以下のように4つのメディア設定を使うことができます。
  - メディア自動感知 (Smart Media Detection)
  - ギャップセンサー自動補正モード (Gap Sensor Auto Calibration Mode)
  - ブラックマークセンサー自動補正モード (B/M Sensor Auto Calibration Mode)
  - メディア手動補正モード (Manual Calibration Mode)
- 多様なメディア補正が存在する理由
  - メディア補正のためには数枚のラベルをスキャンし、スキャン量が多くなるほどより正確にセンサ感度を調整することができます。
  - ラベル用紙の材質、カラー、表面状態、厚さ、ギャップの長さ、Pre-Printedなどの条件によってセンサの感度調整に必要なペーパースキャン量が変わります。
  - 用紙の浪費防止と正確なセンサ感度調整との折衝点を提供するために4つの異なるメディア設定モードが提供されます。
  - 大部分の一般的なラベルの場合、最小のスキャン量でセンサー感度を調整できる　メディア自動感知の実行で充分です。
  - 自動感知 → ギャップセンサー自動補正モードまたはブラックマークセンサー自　動補正モード → 手動補正モードの順に使用します。

5-5 メディア自動感知 (Smart Media Detection)

- ユーザーが操作することなく必要な場合、プリンタが自動的に実行する機能で、大部分の一般用紙は自動感知機能によってメディアを設定することができます。
- 別途の設定がなくてもギャップ用紙と黒マーク用紙を自動的に区分します。
- 用紙の種類によって3枚～5枚程度のラベルがフィードされれます。
- メディア自動感知機能が実行される場合
  - プリンタを初めて取り付ける場合、フィードボタンまたは印刷コマンドによって実行されます。
  - フィードまたは印刷中に用紙の長さ変化が感知された場合
  - 設定されている用紙タイプと異なる種類の用紙タイプがコマンドによって入力される場合
  - 工場設定に初期化後
- メディア自動設定モードまたはメディア手動設定モードを利用してセンサ感度を設定した後、メディア自動感知機能がオンになり、工場設定に初期化すれば、再びオンになります。

5-6 ギャップセンサー自動補正モード (Gap Sensor Auto Calibration Mode)

メディア自動感知後にも用紙が正常に感知されない場合に使います。

用紙を給紙しながらギャップセンサーの感度を自動的に補正します。

最大1メートルまでフィーディングして用紙感知に失敗すれば、エラーモードに入ります。
エラーモードはカバーを開閉すれば解除されます。

このモードでも用紙感知に失敗した場合、手動補正モードをご使用ください。

このモードで用紙感知に成功した場合、メディア自動感知機能はOFF状態になります。

5-6-1 実行方法

- 5-2-2(プリンター単独設定モード)の4番目LED状態(LED 1オレンジ / LED 2緑 – 4回点滅)でFeedボタンを押すと、ギャップセンサー自動補正モードが実行されます。

5-7 ブラックマークセンサー自動補正モード (B/M Sensor Auto Calibration Mode)

メディア自動感知後にも用紙が正常に感知されない場合に使います。

用紙を給紙しながらブラックマークセンサーの感度を自動的に補正します。

最大1メートルまでフィーディングして用紙感知に失敗すればエラーモードに進入します。
エラーモードはカバーを開いてから閉じれば解除されます。

このモードでも用紙感知に失敗した場合、手動補正モードをご使用ください。

このモードで用紙感知に成功した場合、メディア自動感知機能はOFF状態になります。

5-7-1 実行方法

- 5-2-2(プリンター単独設定モード)の5番目LED状態(LED 1オレンジ / LED 2オレンジ – 4回点滅)でFeedボタンを押すと、ブラックマークセンサー自動補正モードが実行されす。

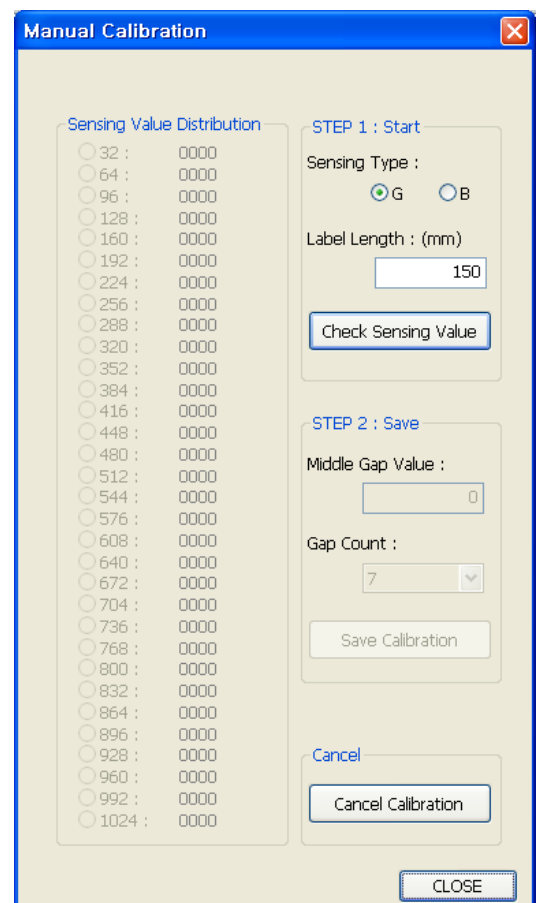
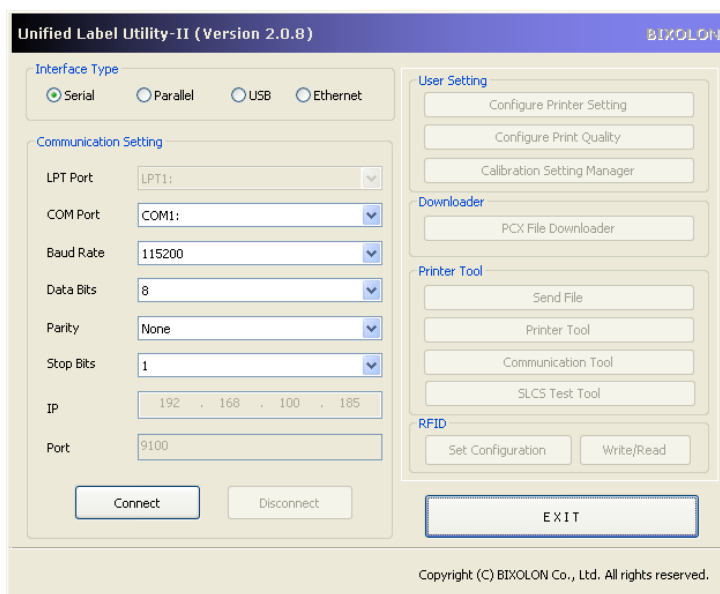
5-8 メディア手動補正モード (Manual Calibration Mode)

ギャップセンサ手動補正機能は自動補正機能を使った後にも、プリンタがラベル用紙のギャップ(または黒マーク)を認識できない場合に使います。

ギャップセンサ手動補正はユーティリティプログラムを利用して値を調整します。

ユーティリティは同梱のCDに収められているほか、インターネット上でBIXOLON社ウェブサイトwww.bixolon.comからダウンロードすることもできます。

ユーティリティを利用してギャップセンサを手動補正するには以下のように行います。
詳細は「ユーティリティマニュアル」を参照してください。

プリンタが接続されていることを確認し、ユーティリティプログラムを実行します。インターフェースの種類を設定してから「Calibration Setting Manager」ボタンを押します。

1) Sensing Type選択及びLabel Lengthをmm単位で入力後 “Check Sensing Value” ボタンを押すとプリンターがcalibrationを始めます。
2) Calibrationが終わるとScanされた値がユーティリティー画面に表示されます。
3) 左側の選択可能な値からひとつを選び、“Save Calibration”ボタンを押してプリンターに保存してください。
4) センシングが正常にならない場合は、他の値を選んでもう一度 “Save Calibration”ボタンを押してプリンターに保存してください。
5) “Cancel Calibration”ボタンを押すとプリンターに保存されたCalibration設定値が消去され、基本設定値に初期化されます。

5-9 カバークローズモード (Cover Closing Mode)

1. カバークローズモードとは？
   - プリンタのカバーを開閉した場合、用紙の位置が正確な印刷位置にないため、そのまま印刷すれば印刷物が用紙から外れることがあります。
   - これを防ぐためにカバーを閉じれば、印刷待機モードでないカバークローズモードに転換してユーザーの入力を待ちます。
   - このモードでのLEDの状態は以下のとおりです。
     - LED 1: 緑色に点滅
     - LED 2: 緑色に点滅
   - カバークローズモードで受信されたデータは印刷されません。印刷待機モードに復帰した後に自動で印刷が始まります。

2. カバークローズモードから印刷待機モードに転換する
   - ポーズボタンを押せば用紙をフィードしないで、すぐに印刷待機モードに戻ります。
   - フィードボタンを押せば用紙を一枚フィードし、用紙位置を合わせた後に印刷待機モードに戻ります。

5-10 受信データ出力モード (Data Dump Mode)

印刷が正常に行われない場合、通信状態を診断するために使う機能です。

このモードの時は、プリンターは受信したデータを解釈して実行するのではなく、受信した値をそのまま16進数(Hex)で出力します。

印刷待機モードに戻るには、プリンタ電源をオフにしてから再びオンにしてください。

5-10-1 受信データ出力モードを始める

1) 印刷待機モードでポーズボタンを2秒間押します。
2) LEDが両方ともオレンジ色に変わり、プリンタ単独設定モードが実行されます。
3) 5-2-2の6番目のLED状態(LED 1 オレンジ / LED 2 赤 - 4回点滅)でFeedボタンを押すと、受信データ出力モードになります。

5-11 工場設定に初期化 (Factory Reset)

プリンタ設定を工場出荷時点の仕様に初期化する場合に使います。

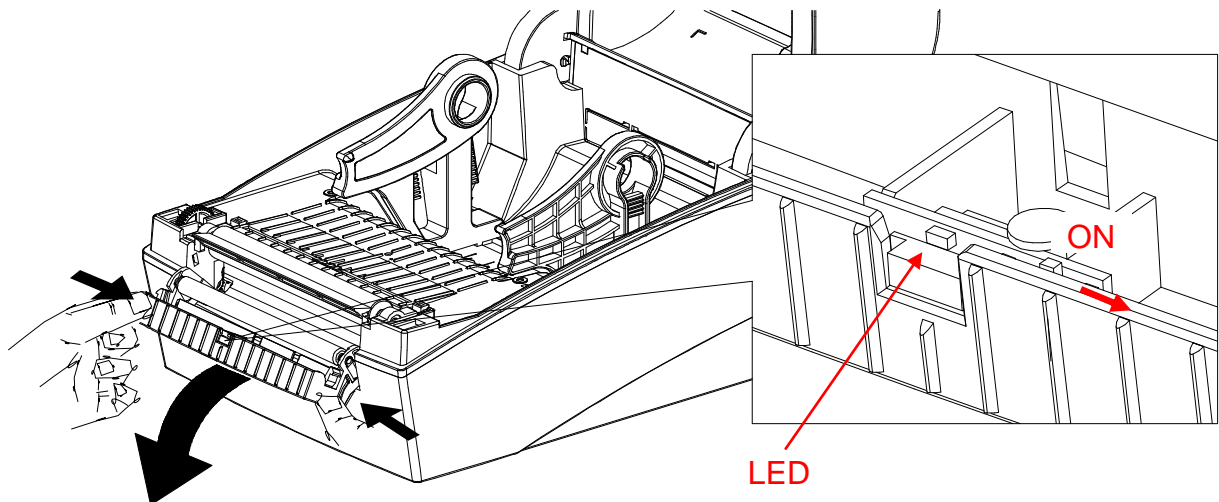
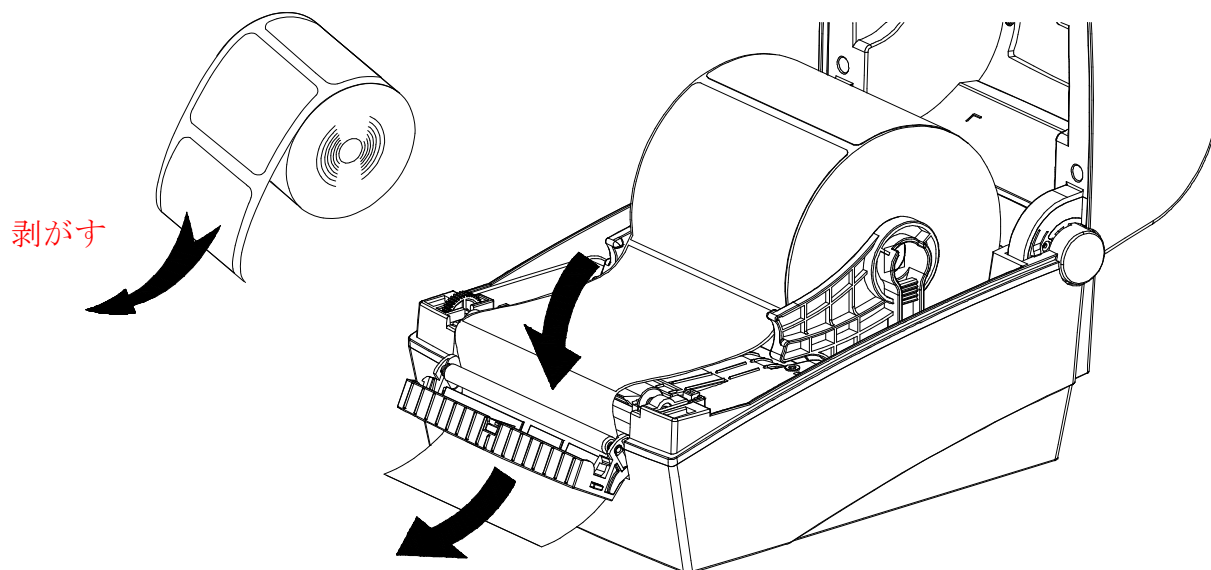
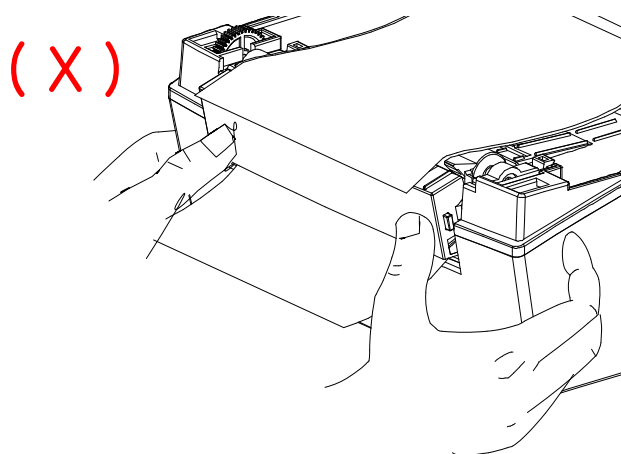
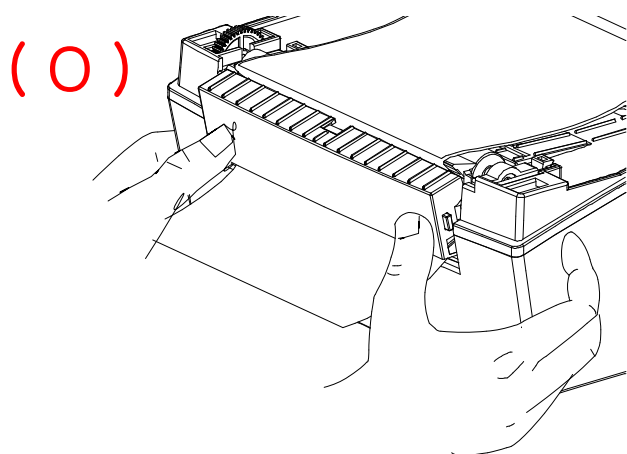
5-11-1 初期化する

1) 印刷待機モードでポーズボタンを2秒間押します。
2) LEDが両方ともオレンジ色に変わり、プリンタ単独設定モードが実行されます。
3) 5-2-2の2番目のLED状態(LED 1 緑 / LED 2 赤 – 4回点滅)でFeedボタンを押すと、基本設定値が工場出荷時設定に初期化され、メディア自動感知機能が実行されます。

5-12 ラベル分離(Peel-Off / Option)

ラベルを裏面用紙から自動で剥がす機能で、ラベル用紙を使う時のみ動作します。

1) 用紙カバーを開いてください。

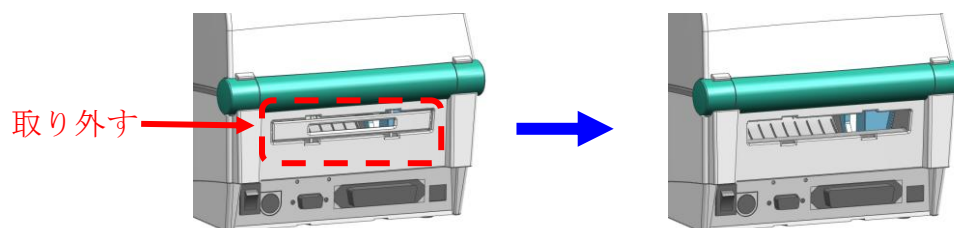
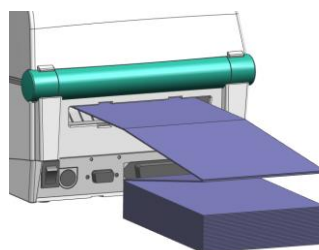
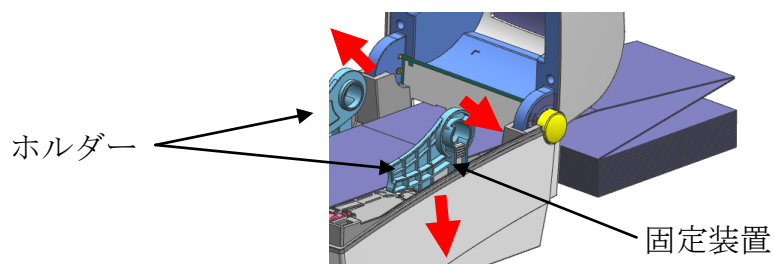
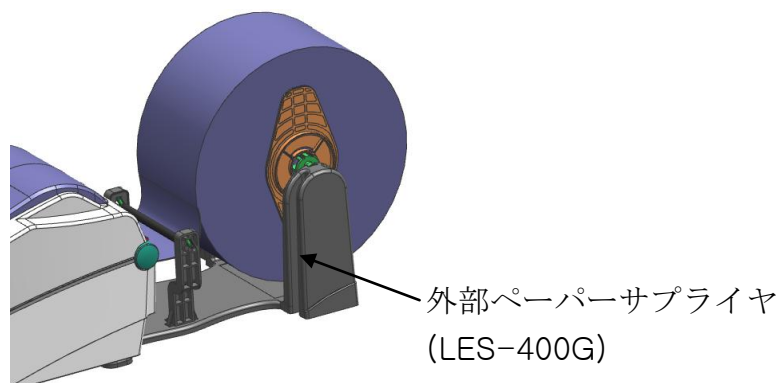
2) ラベル分離カバーを開いてピーラー(Peeler)スイッチをONにしてください。
- この時、LEDが点灯していることを確認してください。

3) ラベル用紙1枚を剥がし、図のように用紙を入れてください。

4) ラベル分離カバーを閉じてください。

5) 用紙カバーを「カチッ」と音がするまで閉じてください。

6) プリンターの電源を一度消してから、つけなおしてください。

5-13 ファンフォールドペーパーの使用

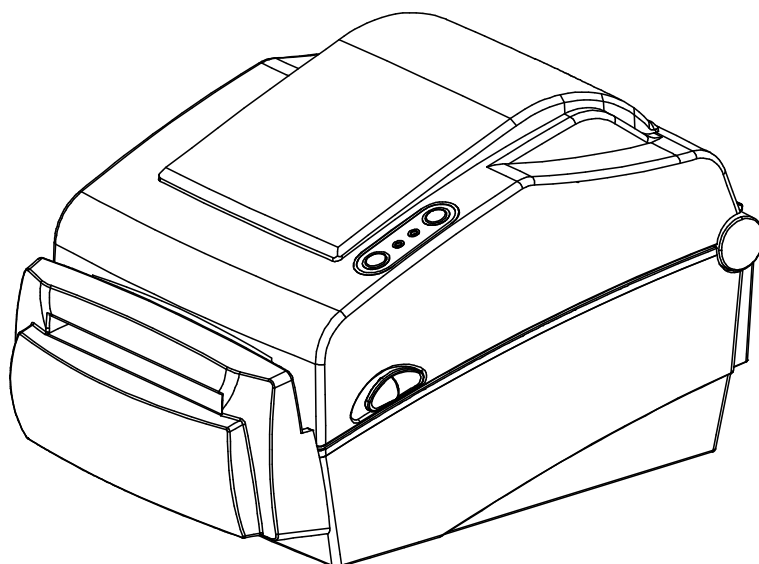
プリンタ外部からの紙送りはつぎのように行います。

5-13-1 プリンタの準備
プリンタ背部のペーパーサプライカバーをナイフなどの刃物を使って取り外します。

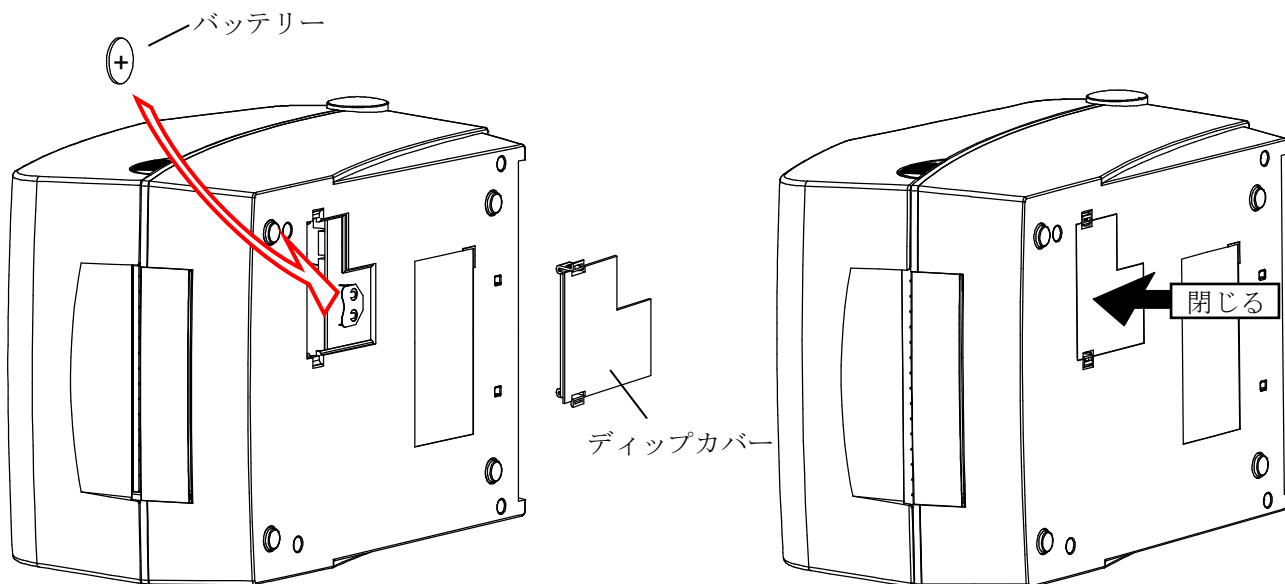
※ 注意
- 手や体に怪我をしないよう注意してください。

5-13-2 パンフォールドペーパー使用時
1) プリンタ背部のスロットから紙を送ります。

2) ホルダーを用紙幅に合わせて調整し、固定装置で固定します。

5-13-3 大容量Roll 用紙を使う場合(Option)

5-14 オートカッター(Auto Cutter / Option)

用紙を自動で切るためのAuto Cutterを取り付けることができます。

オートカッターはコマンドでコントロールします。ユーティリティープログラム(Unified Label Utility-II)を使って、プリンター基本設定をオートカッター動作状態に変更してください。

※ 用紙の設置方法はAuto Cutterを設定していない時と同じです。

5-15 RTC(Real-Time Clock / Option)

ラベルに時間と日付を印刷する機能で、ユーティリティープログラム(Unified Label Utility-II)を使って設定値を変えることができます。

プリンターが何度も間違った時間と日付を印刷する時は、バッテリーを交換してください。バッテリーを交換した後に時間と日付を再設定してください。

※ 注意事項

- 安全のためにプリンターのディップカバーは閉めておいてください。
  バッテリーを交換する際は、親指と人差し指でディップカバーを開けてください。
- バッテリーのリサイクル及び保管の際は、漏電を防ぐために
  絶縁できるもので包んでください。
- 漏電しないようにご注意ください。熱発生及び火災の原因となります。
- 分解したりバッテリーを加熱しないでください。

6. ヘッドの清掃

埃や異物、粘着物などがプリンタヘッドやプリンタの内部に侵入すると印刷の質が低下することがあります。

プリンタヘッドは以下のように清掃します。

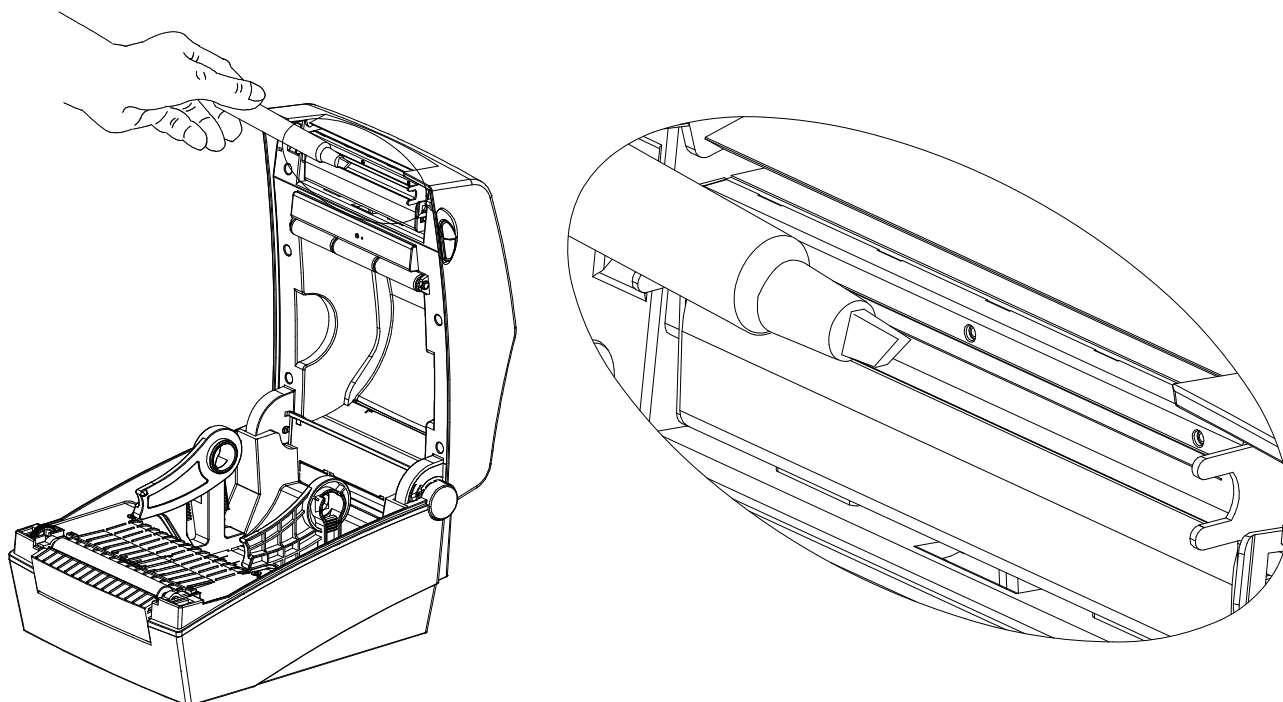
※ 注意

- 清掃前にプリンタの電源を忘れずに切ってください。
- 印刷中はヘッドは非常に高温になります。プリントヘッドの清掃前には、プリンタの電源をオフにし、2~3分待ってから行ってください。
- プリンタヘッド清掃時は、過熱した部分に触れないよう注意してください。
  → プリンタヘッドは静電気などが原因で破損することがあります。
- プリンタヘッドにキズや損傷が起こらないよう注意してください。

6-1 ヘッドの清掃

1) 用紙カバーを開き、クリーニングペンを使いプリンターヘッドの中央から外側に向かって お手入れしてください。

2) ヘッドを清掃した後は、清掃に使用したアルコールが完全に乾くまではプリンタを使用しないでください（1~2分）。

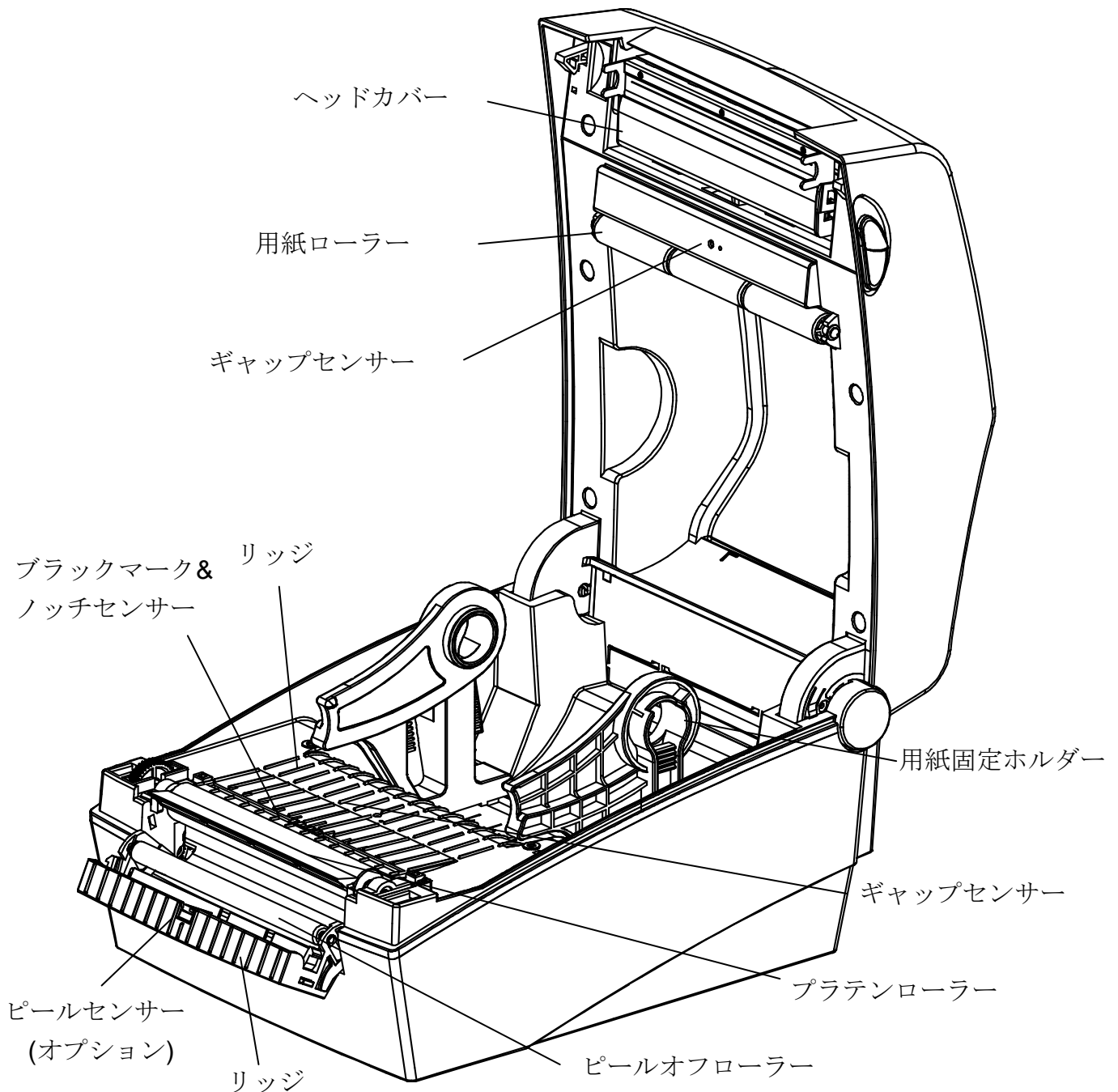
※ 印刷の質の低下を防ぐために清掃はペーパーロールの交換毎に行ってください。

6-2 センサ、ローラーおよびペーパーパスの清掃

1) 用紙カバーを開いて用紙を取り出してください。

2) 乾いた布やコットンを使って埃や異物を取り除きます。

3) 布やコットンを医療用アルコールに浸し、粘着性のある異物やゴミを除去します。

4) 部品の清掃後は、清掃に使用したアルコールが完全に乾くまではプリンタを使用しないでください（1~2分）。

※ 印刷の質や紙の感知の質に低下が見られたら部品を清掃してください。

7. 付記

7-1 仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>主な内容</th></tr>
<tr><td rowspan="4">プリンター</td><td>印刷方式</td><td>感熱方式印刷</td></tr>
<tr><td>ドット数</td><td>SLP-DX420 : 203 dpi (8 dot/mm)
SLP-DX423 : 300 dpi (11.8 dot/mm)</td></tr>
<tr><td>印刷幅</td><td>SLP-DX420 : Max 108 mm (Max. 4.25”)
SLP-DX423 : Max 105.7 mm (Max. 4.16”)</td></tr>
<tr><td>印刷速度</td><td>SLP-DX420: Max. 178 mm/sec (Max. 7ips)
SLP-DX423: Max. 127 mm/sec (Max. 5ips)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">用紙</td><td>幅</td><td>20～110 mm (0.79～4.33”)</td></tr>
<tr><td>Roll</td><td>Max 130mm (Max. 5.12”)</td></tr>
<tr><td>Core</td><td>25.4～38.1mm (1～1.5”)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">アダプター</td><td>入力電圧</td><td>AC 100～240V</td></tr>
<tr><td>入力周波数</td><td>50/60 Hz</td></tr>
<tr><td>出力電圧/電流</td><td>DC 24V ± 5%</td></tr>
<tr><td rowspan="2">環境</td><td>温度</td><td>0～40 ℃ (動作時)
-20～60 ℃ (保管時)</td></tr>
<tr><td>湿度
(用紙以外)</td><td>10～80 % RH (動作時)
10～90 % RH (保管時)</td></tr>
</table>

※ 備考

- プリント速度はデータ送信スピードとコントロールコマンドの組みあわせにより変化します。

7-2 ラベル材質

この製品に使用されているラベルの材質は以下の通りです。

- コントロールラベル ：PP
- その他ラベル ：PET